

平成20年度 国東市当初予算決定

一般会計歳入歳出予算は、190億6、500万円

《支 出》

生活費(人件費・扶助費)	6万2千円(33%) 【△1千円】
家の増改築費(公共事業など)	2万1千円(11%) 【△1万5千円】
子どもの教育費など (その他の事業費)	3万9千円(21%) 【2千円】
子どもへの仕送り (特別会計への繰出金)	2万4千円(12%) 【△2千円】
貯金(基金積立金)	4千円(2%) 【△3千円】
借入金返済(公債費)	4万円(21%) 【△3千円】

平成20年度 一般会計の当初予算額

190億円を
月収19万円の家計に置き換えると…

【 】は平成19年度予算額(212億円を月収21万2千円に置き換えた場合)との比較額です

《収 入》

給料(税込)	3万2千円(17%) 【△1千円】
実家(国・県)からの支援	12万1千円(64%) 【△2千円】
パート収入(使用料等)	1万1千円(6%) 【△2千円】
預貯金取り崩し (基金繰入金)	5千円(2%) 【△7千円】
借入金(市債)	2万1千円(11%) 【△1万円】

実家からの支援の割合が6割を超えたので、将来支援が減らされると、困るわ…

毎月、4万円も借入金の返済をしてるから、貯金は4千円しかできないの。将来とっても不安だわ!!

昨年と比べて、家の増改築費が1万5千円減ったので、預貯金の取り崩しや借入金を減らすことができなくてよかったわ!!



これから先、もっと生活費を切り詰めたり、借入金を減らしていかなきゃダメ!!

国東市の平成20年度当初予算が、3月6日(木)から開催された平成20年度第1回市議会定例会で審議され、可決されました。

本市においては、行財政改革を推進し、あわせて少子高齢化対策に力を注ぐことにより若者の定着を促進し、人口を増やしていくことが重要であると考えています。

こうしたなか、平成20年度の当初予算編成を「改年初年度」と位置づけ、一般会計の予算規模を190億円前後に抑える緊縮予算を目標に掲げ、歳入は、基金からの繰入金(市の貯金からの取り崩し)や、事業に係る市債(市の借入金)を極力抑える一方、歳出は、人件費の削減はもとより、委託費等の物件費や既存施設の活用、維持補修に重点を置くことによる普通建設事業費の抑制などを中心に予算規模の圧縮を図りました。

また、本市の大変厳しい財政状況にかんがみ、公債費(借入金の返済金)の抑制のため、投資的経費をはじめ事務事業全般にわたる徹底した節減合理化を図り、効率的な財政運営を行うことが急務です。このこと

を職員一人ひとりが強い危機感を持ち、市民皆様の絶大なご理解とご協力をいただきながら、住民福祉の向上のために一丸となって、諸施策に取り組んでいかなければなりません。

以上の方針に基づいて編成した平成20年度一般会計当初予算の総額は、190億6、500万円です。前年度の6月肉付補正後の通年予算額211億4、810万円と比較すると、20億8、310万円の減額、率にして9・9パーセントの大幅な減額となっています。

しかしながら、平成19年度においては、「安岐統合小学校等施設整備事業」の15億6、482万6千円という大きな特殊事業が含まれているので、この額を控除した後で比較すると、2・6パーセントの減となります。

この一般会計に、国民健康保険事業特別会計や介護保険事業特別会計をはじめとする14の特別会計の予算を加えた予算総額は、346億2、353万1千円となります。

なお、この当初予算額は、今後の税の納付状況、地方交付税の確定、入札等による事業費の減額、医療給